

平成三十一年度

富山大学人文学部 一般入試（後期日程）

入学試験問題

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開かないこと。
- 2 問題用紙は表紙を含め三枚、解答用紙は二枚、下書き用紙は一枚（両面）である。  
試験開始の合図があつてから確認すること。  
なお、文字などの印刷不鮮明、落丁・乱丁、汚れなどがあつた場合は、手を挙げて  
監督者に知らせること。
- 3 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。  
氏名を書いてはいけない。
- 4 解答は、指定された解答用紙に記入すること。  
指定された解答用紙の所定欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としない。
- 5 配付された問題用紙および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ること。

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

著作物引用箇所のため非公開

## 著作物引用箇所のため非公開

穂村弘「読書は必要？」（『朝日新聞』二〇一七年四月十六日「ひもとく番外編」）より。

出題の必要により、一部書き改めたところがある。

問一 傍線部①「『賛成です』と答えることに不安と躊躇<sup>ためら</sup>いを覚えます。」について、著者がそのように言う理由を二〇〇字以内でまとめなさい。

問二 傍線部②「言葉によって世界像は書き換えられる」について、あなた自身はどのように考えますか。著者の考えを踏まえた上で、あなた自身の経験に照らして、八〇〇字以内で述べなさい。

見本

科目 小論文

受験番号

総得点

問一 (二〇〇字以内)

Grid for writing answer (200 characters limit). Includes row markers 5, 10, 15, 20, 25 and column markers 200, 100.

問一 得点

見本

平成三十一年度 富山大学人文学部 一般入試(後期日程) 入学試験  
解答用紙(二枚目)

科目 小論文

問二 (八〇〇字以内)

問二
得点

受験番号

\*この用紙は持ち帰ること。

A grid of graph paper with numerical labels on the left and bottom axes. The left axis is labeled with 5, 10, 15, 20, and 25. The bottom axis is labeled with 200 and 100. The grid consists of 25 rows and 10 columns.

見本

「下書き用紙」

\*この用紙は持ち帰ることで。

